JIFAS NEWS
Japan International Food and Aquaculture Society
2014.11.30 No.0163
E-Mail : jifas@sage.ocn.ne.jp http://www.jifas.net
〒302-0131
茨城県守谷市ひがし野 2-1-1-0111
TEL & FAX : 0297-44-4487

# 最近の中国水産物事情

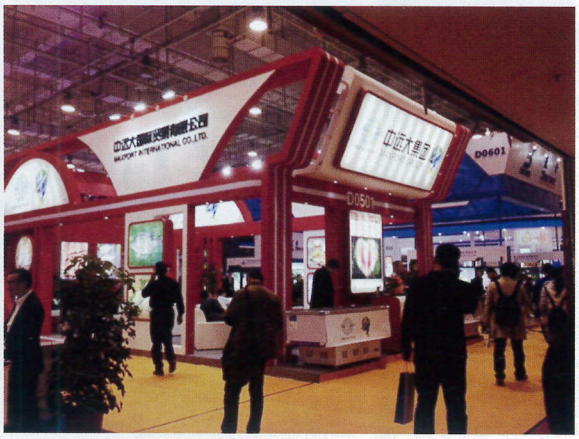
## 11 月 5～7 日に開催された中国・青島(チンタオ)で開催された国際漁業博覧会を視察報告

T. ASAKAWA

青島は二年ぶりですが、博覧会の入場者の傾向がかなり変化しています。またこの数年の間で青島の消費者嗜好もかなり変化しています。主催者によれば今年の中国の水産物輸入は前年より20%増加して 100 億米ドルになると予想されています。

会場は一棟が増築され以前の倍ほどの広さです。会場への入り口が変更され、手荷物検査後に建物へ入り、会場内へ入るには更に入場者バッジと入場者の顔写真の確認があります。中国では相変わらず整然と列に並ぶことはないので会場へ入るにはかなりの混雑を毎回通過しなければなりません。

出展企業総数は 1,189 で海外からは 43 カ国が出展、来年の 20 周年に向けて今年の出展企業総数は前年より 20%増加しています。100 カ国以上の海外来場者を含む来場者合計は速報値で 27,000 人、前年比 23%増。アメリカ、カナダ、ノルウェー、チリ、ペルーなどは海外館の中心部を占め視覚的にも魅惑的なパビリオンを製作して来場者を引き付けていました。日本パビリオンは隅の方で立地的には感心しませんでした。日本、韓国や台湾など東アジア系のパビリオンはヨーロッパ系の国々に比べてパビリオンのデザインは来場者への国としてのアピールが物足りません。中国の大手水産会社のブースは巨大で、一社で外国パビリオンとほぼ同じ大きさでした。そこでは商品サンプルの展示というよりは PR や商談の場を提供している印象で、活発な海外出展企業のホールよりも閑散としていました。



### 中国人来場者の変化。

以前は初日の午前中に非常に多くの来場者があり、手に取れるものは何でも持っていきました
そして特に安価な水産物ばかりを捜し求め、昼食時には来場者が一斉にいなくなりました。
ところが最近では特定の魚種を求めてくる来場者が多くなりました。水産物に関する彼らの知識